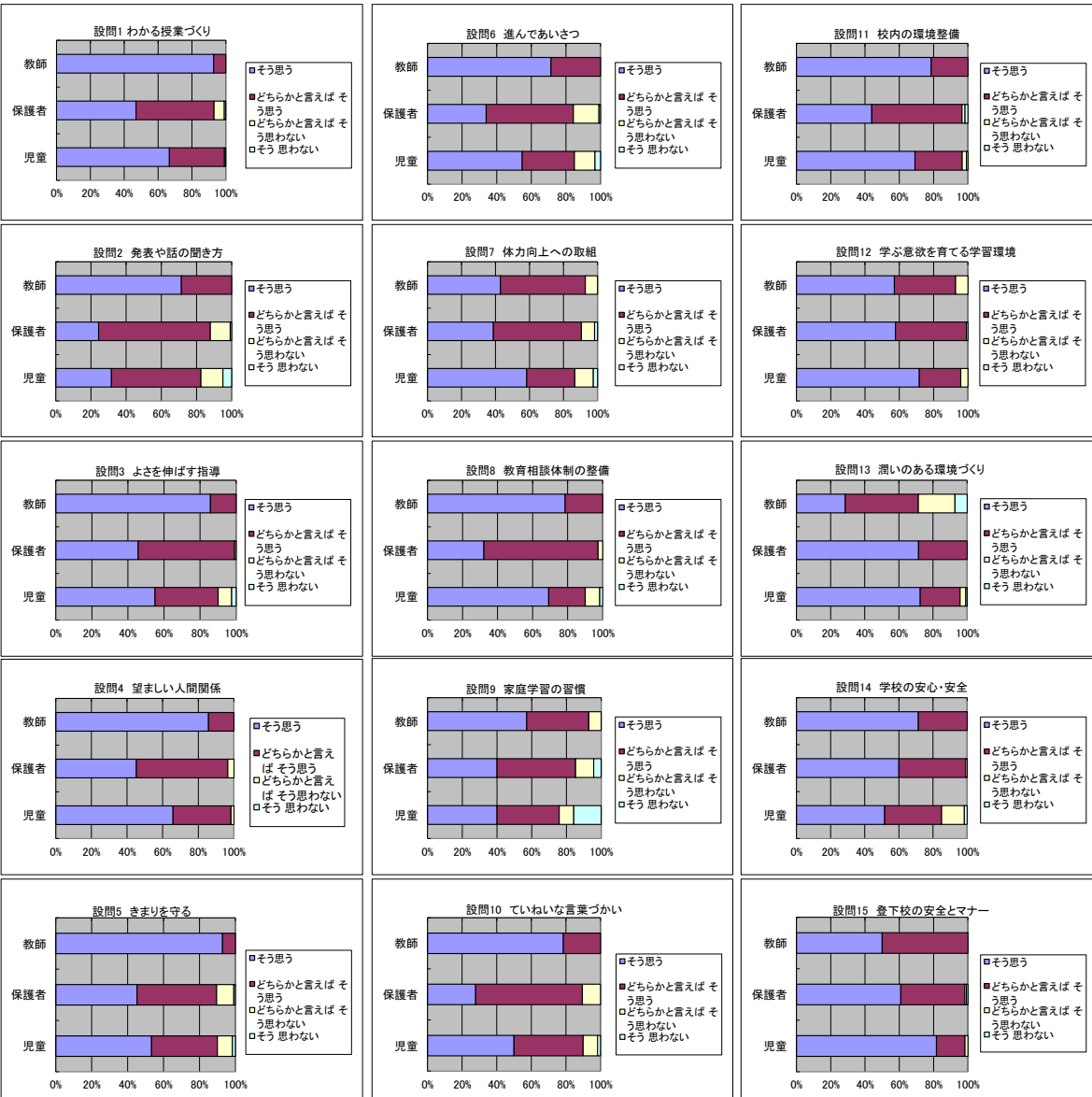


令和2年度 学校評価に係る質問紙【幸手市様式(11月実施)】 集計一覧 *本年度は、コロナ禍の影響により1回のみの実施

設問	内容	教師	保護者	児童
設問1	わかる授業づくり	13	54	80
設問2	発表や話の聞き方	10	28	38
設問3	よさを伸ばす指導	12	38	66
設問4	望ましい人間関係	12	52	39
設問5	学校のきまり	13	53	64
設問6	進んであいさつ	10	39	89
設問7	体力向上への取組	6	45	70
設問8	教育相談体制の整備	11	37	83
設問9	家庭学習の習慣	8	46	48
設問10	ていねいな言葉づかい	11	32	60
設問11	校内の環境整備	11	51	83
設問12	学ぶ意欲を育てる学習環境	8	67	86
設問13	潤いのある環境づくり	4	83	87
設問14	学校の安心・安全	10	69	62
設問15	登下校の安全とマナー	7	70	98

相対的に成果が多く認められるもの	・成果として認められる数値(人数) 「そう思う」の人数が、全体の5割(児童60人・保護者50人・教師7人)を超えているもの、または同程度のもの。
成果が認められるもの、課題も認められるもの	・課題として認められる数値(人数) 「どちらかと言えばそう思わない」・「どちらかと言えばそう思う」の合計が全体の1割(児童12人・保護者10人・教師2人)を超えている、または、同程度の人数であるもの。
*相対的に課題が多く認められるもの	



よりよいさかえ小をめざす「10のします」

- 児童が自信をもって発言できるよう、引き続き、語彙力や順序立てて話せる力の向上をめざした研修を進めます。(問2)
- 児童のがんばりを見逃さずタイムリに褒め、自己肯定感を高める教育を推進します。(問3)
- 「きまりを守ることは、自他ともに守る(大切にすることになる)」ことを理解し行動できるよう、指導します。(問4)
- 「あいさつは将来の自分にとって欠かせない重要なコミュニケーションツールであることを理解し実践できるよう、指導します。(問6)
- コロナ禍の状況下での体力づくりについて、感染防止策をふまえ、できることをできる形で行います。(問7)
- 児童が教師に相談しやすい雰囲気づくりをより大切にします。また、ふれあい相談員学校訪問(週1回)の利用回数が増えるよう、児童に働きかけます。(問8)
- 児童個々にあった家庭学習ができるよう、支援します。ご家庭では、引き続き、家庭学習の見届けや励ましをお願いします。(問9)
- 児童がTPO(時・人・目的)に応じた言葉づかいができるよう、指導します。ご家庭での協力もよろしくお願いいたします。(問10)
- コロナ禍の状況下だからこそ、より美しい環境を整え、学校生活に潤いを感じられるようにします。(問13)
- 校内はもちろん、家庭や地域でも自他の安全を守った行動がとれるよう指導します。ご家庭のお声がけや見守りが欠かせません。よろしくお願ひします。(問14・15)